

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立岐阜商業高等学校 事業実施報告書③

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	学 校 名：岐阜県立岐阜商業高等学校 対象学年：1 年生 約400人 方 法：年間を通じて体育・保健の授業内で実施する
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 体育・保健 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他 （ ）
4 目 標 （ねらい）	■オリンピックの歴史を学ぶことで、スポーツに関しての興味関心をさらに深めることを目標とする。 ■スポーツの良い点（陽）ばかりでなく悪い点（陰）も学習することで本来のスポーツの楽しさを理解させる。
5 取組内容	■年間を通しての体育・保健の授業内でオリンピック競技の歴史を学習する。特に、後期に学習する「体育理論」の授業では、オリンピックの歴史とドーピングに重点を置いて学習する。 ■実技においては、バレーボール・水泳・テニス・陸上を通じてスポーツの楽しさと技術の向上を目指しての取組を行う。
6 主な成果	■生徒の感想 ①競技種目の変遷を学ぶことで世界の歴史や流行などを取り入れることで興味をもつことができた。（男子） ②同じ競技内でも多くの種目があることは知っていたが、全く知らない競技もあり驚いた。（女子） ③オリンピックの歴史については知らないことばかりだったので、授業がとても楽しかった。（多数あり） ④「スポーツマン精神とは」について色々な角度から学ぶことができ今までと違う観点でスポーツを観戦してみたい。（男子） ■成果 運動部に所属している生徒が半分以上おり、スポーツに関心を寄せる生徒が多いので積極的に授業に取り組む姿勢が見られた。また、自分の競技だけでなく、他競技への関心度の高さを感じることができた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	■ドーピングについての話題に触れるとともに、スポーツの公平さを学びそれが人間形成につながることを理解させるために、実際にドーピング検査に関わった人の話を聞かせ、その必要性とスポーツが人に与える感動について学ばせた。
8主な課題等	■2020 年の東京オリンピックに向けての関心度を、授業を通してどのように高めていくかが今後の課題である。
9来年度以降 の実施予定	■ドーピングに関するガイドブックがあると、より具体的な授業ができるので、それが学校に配付されるとありがたい。